

目次	P1	開催報告「第41回 全国フロントマン選抜技術競技会」
	P2~3	「第41回全国フロントマン選抜競技会」最優秀賞受賞者ご紹介、取り組み事例 山梨県本部協力会
	P4~5	「ヘミング加工リヤフェンダ取り替え用エアツール」、出張研修「アルミニウム外板の修理技法研修会」
	P6	平成29年度JARIC研修会

開催報告 「第41回 全国フロントマン選抜技術競技会」が開催されました。

JA共済自動車指定工場協力会では、平成28年11月11日(金)と12日(土)の両日、「第41回全国フロントマン選抜技術競技会」をJA共済幕張研修センターにて開催しました。

全国の自動車整備・修理工場約1,700社が会員として所属する同協力会主催のこの競技会は、各県選抜のフロントマンたちが日頃培った“見積技術”を競うものです。

競技に先立って行われた開会式では、本島直幸会長より「JARICで実施しているCSアンケート調査では、約8割のお客さまが『満足』と回答していますが、残り2割の方の評価を得るためにも、優秀なフロントマンである皆さまの力が不可欠です。本日参加される皆さまは、第一線のフロントマンとして、連日、契約者の事故車両などの修理に誠心誠意あたっていただいております。各都道府県で選抜されたすばらしい技術をお持ちの方々ばかりです。日頃の実力を遺憾なく発揮いただくよう祈念いたします」と挨拶をいただきました。

競技は初日に行われ、フロントボディを損傷したトヨタ・カローラアクシオと、リヤボディを損傷したスズキ・ワゴンRを使用し、参加者は1台あたり約2時間の持ち時間の中で見積作成に取り組みました。

競技終了後、審査委員による厳正な審査の結果、最優秀賞に選ばれた熊本県の米田和史さん(株式会社 清田自動車)をはじめ、7名のフロントマンが各賞受賞の栄誉に輝きました。なお、二日目の午前中には、JA共済損害調査株式会社 露木課長から、前日に行った見積に関する参考解説を行いました。参加されたフロントマンの方々は、模範解答を見ながら解説に聞き入っていました。

今後も、JA共済自動車指定工場協力会では、「JA共済の指定工場として、真のサービスを提供し、組合員・利用者の満足度向上に努力する」ためにも、自動車整備・修理工場のレベルアップを図り、JA自動車共済の事業に貢献できる優秀なフロントマンの育成を目指していきます。

来年度は、「全国フロントマン選抜技術競技会」を平成29年11月17日(金)～18日(土)に開催する予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

【第41回全国フロントマン選抜技術競技会 競技結果】

- 最優秀賞 熊本県 米田 和史 株式会社 清田自動車
- 優秀賞 鳥取県 入江 頼孝 岩世自動車工業 有限会社
- 山口県 藤野 幸生 長門自動車工業 有限会社
- 長崎県 岸 健太郎 株式会社 岸自動車钣金
- 敢闘賞 山形県 加藤 貴洋 戸沢自動車
- 山梨県 山本 裕也 有限会社 望月自動車工業
- 福岡県 豊永 寛二 西南自動車工業 株式会社

(敬称略)



出場者の皆さん

受賞者の皆さん



本島会長と最優秀賞の米田さん

優秀賞の皆さん(左から、岸さん、入江さん、藤野さん)

敢闘賞の皆さん(左から、加藤さん、山本さん、豊永さん)

最優秀フロントマン、米田和史さんを直撃インタビュー。

「第41回全国フロントマン選抜技術競技会」で、最優秀賞を受賞された株式会社 清田自動車の米田和史さんのもとを訪ね、受賞の感想や仕事に対する思い、今後の抱負についてお話をお伺いしました。

最優秀賞受賞者 米田和史(こめだかずふみ)さん
にお聞きしました。

●最優秀賞受賞の感想をお聞かせください。

私は、これまで何度か全国競技会に参加させていただき優秀賞を受賞していましたが、今回の参加にあたっては、周囲も自分も、「今度こそは!」と思って、期待とともにプレッシャーも相当大きいものがありました。

熊本県大会の代表となったとき、決意表明で「見積を一から勉強し直し、最優秀賞をとってきます!」と宣言していたので、今は有言実行できてよかったと安堵しています。

手書見積は基本ができていないと作成できないので、基本を勉強しなおして競技会に臨みました。

競技会独特の雰囲気と、限られた時間のなかでの手書見積作成というのは、何度か参加していますが、今回も緊張で一杯でした。

出題されたフロント損傷車両のトヨタ・カローラアクシオの損傷波及の判断や、リヤ損傷車両のスズキ・ワゴンRの修理方法の判断で迷いました。

でも、熊本では震災もあったことから、地元のJAに少しでも明るい話題を届けたいという思いで参加していたので、最優秀賞を受賞できて、本当にうれしく思っています。

●見積作成や、見積技術向上のために心がけていることは何かありますか。

見積作成にあたっては、お客さまに安心、安全、快適に車に乗っていただくため、漏れや見落としがないことはもちろん、リサイクル部品を活用する提案など経済性も考慮した見積りを作ることを心がけています。

また、見積技術向上のため、「JAフロントマンフォロー研修会」や他主催の見積研修会などにも参加しますし、新型車や新技術の講習にも積極的に出席し、低電圧資格を取得するなどして見積技術向上に取り組んでいます。



米田和史さん(右)と清田兼示社長

●お客さま対応において心がけていることはありますか。

お客さまによってご要望はさまざまですので、車の仕上がり“プラスα”のサービスで満足いただけるよう心がけています。丁寧な接客はもちろん、車を見ながら修理方法を説明して納得いただけるようにしています。



BPセンター外観

●JAとの連携状況についてお聞かせください。

JA熊本市の共済査定課の方と搬入対策会議で意見交換をしたり、県南部で開催される合同会議にも参加しており、顔をあわせることが大事だと思っています。JA熊本市以外のJAを通じて在庫依頼もあり、レッカー依頼には365日対応の態勢で積極的に出動しています。また年中無休の強みをいかし、日曜・祭日でも対応できる旨を伝えています。

在庫されたお客さまには事故車修理だけではなく、車検整備等も安心してご利用いただいております。JAの自動車・自賠責共済の推進にも力を入れています。

株式会社 清田自動車 代表取締役 清田 兼示
(きよた けんじ)さんにお聞きしました

●御社の社風や抱負等について、お聞かせください。

創業70周年を迎える今年のテーマは原点回帰です。現場の若い社員の声も取り入れられるようコミュニケーションを大事にしていきたいと思っています。一方、世界トップクラスの第三者検査機関であるテュフラインランドによる工場のテュフ認定も進めており、トータルでお客様やJAに満足していただける会社を目指しています。

また、「感謝」を会社のキャッチフレーズとし、これまで以上に「信頼関係の構築」に取り組んでいきます。先進自動車についても、ハイブリッド車や電気自動車などハイスペックな車の販売・整備・修理ができるよう、社員全員が技術研修会などに参加して日々研鑽し、車を通して人と人の信頼関係が生まれる会社づくり、人間づくりを目指して頑張っております。

米田和史さん所属工場のご紹介

指定工場：株式会社 清田自動車

昭和22年に地域密着型の钣金塗装工場として創業。昭和63年12月にワンストップサービスのできる会社を目指し、本店(車検センター)とBPセンターを設立されました。平成29年4月で創業70周年を迎える工場としての実績と技術、最新鋭設備で、お客さまから信頼をいただいております。カーライフのトータルアドバイザーとして活躍されています。



HPアドレス <http://www.kiyota-cars.com>

株式会社 清田自動車 BPセンターの皆さん
(前列左端が米田和史さん、前列中央が清田兼示社長)

取り組み事例 山梨県本部協力会

搬入率向上をテーマに、JARIC山梨運営委員会と JA共済自動車損害調査研究会による合同会議が開催されました。

JA共済自動車指定工場山梨県本部協力会は、平成28年11月18日(金)に山梨県JA会館にて「JARIC山梨運営委員会・JA共済自動車損害調査研究会合同会議」を開催しました。協力会からは運営委員会の役員、損害調査研究会からは県内全JAの損害査定管理者が参加されました。

「搬入率向上」はJARICにとって重要なテーマであり、より多くの入庫誘導が望まれるところです。一方、平成28年度の損害調査研究会にて、事故車両修理の適正化・迅速化の取り組みやレッカー・ロードサービスの実施等諸施策を展開してきましたが、県内の33の指定工場間において、搬入率・レッカー出勤率や自賠責共済・自動車共済の取次実績に差が見受けられることを踏まえ、JAと指定工場の相互理解・情報連携等の協力体



JA共済自動車指定工場協力会
山梨県本部雨宮会長

制を整え、さらなる連携強化と信頼関係の構築を図るため、今回、初の試みとしてJARIC山梨運営委員会との合同会議が開催されたものです。

会議の冒頭で、山梨県本部協力会 雨宮 会長から「JARIC山梨運営委員会とJA共済自動車損害調査研究会の皆様に参加いただき、搬入率向上対策について協議いただくことにより、組合員・利用者から選ばれ続ける強固な事業の取組みを目指していきたい」との挨拶があり、合同会議がスタートしました。

会議は、情勢報告に続き、契約者・利用者向けCSアンケート調査結果やJA向けアンケート調査の実施状況等の報告が行われ、ディスカッションでも搬入率向上に向けた取組みについて有意義な意見交換が行われました。



JA共済自動車損害調査研究会
長田幹事長

ヘミング加工リヤフェンダ取り替え用エアツール

リヤフェンダの取り替え方法

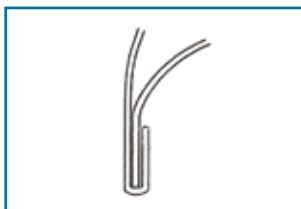
一般的な乗用車のリヤフェンダのホイールアーチ部は、ホイールハウスアウトとの接合形状がL字型(図1)の形状でスポット溶接されています。近年、日産車、トヨタ車では、この部位の接合にヘミング加工(図2)をする車種が増加している傾向があります。このような車両のリヤフェンダを取り替える場合は、再度、ヘミング加工を行う必要があります。ヘミング加工の取り外し作業は従来、サンダー等でヘミング加工の折り返し部位を切削し、接合部を剥がします。取り付け作

業は、ハンマとドリーで折り曲げ、手動のヘミングツールを使用し加工を行うのが一般的でしたが、加工後に、歪みが出やすく、また、作業に熟練を要する等の課題がありました。今回は、エア駆動によって従来の手工具による方法より作業性が向上する取り外し工具の「リムーバルツール」(写真1)とヘミング加工工具の「ヘミングツール」(写真2)を使用した作業例を紹介します。

【図1】L字型スポット溶接



【図2】ヘミング加工



【写真1】リムーバルツール (NEX-2000DS)



【写真2】ヘミングツール (NEX-1000DS)



神奈川県
本部協力会
主催!

ご報告

出張研修「アルミニウム外板の修理技法研修会」が開催されました。

JARICは、近年の自動車整備業界の環境変化をふまえ、指定工場のさらなる技術向上に向けたサポートをしていきます。この研修を踏まえて、平成29年度の本格実施に向け、より充実した研修にまいります。今年度は、JA損調の講師による出張研修会「アルミニウム外板の修理技法研修会」の試行実施に取り組みました。

JARIC神奈川県「アルミニウム外板の修理技法研修会」が、平成28年12月10日(土)の10時～15時の日程で、会場に会員工場「中西自動車 株式会社」をお借りして開催されました。この研修会は、車両重量の低減を目的に採用が増えているアルミニウム外板について、材料と修理技法の基本的な知識や修理実技の習得を目的に開催されたものです。

研修内容は、アルミニウムの修理方法(座学)、アルミニウムとスチールのテストピースを使用したハンマリングと絞り作業の実習、実物パネル(フェンダー)を使用した加熱修正のデモンストレーション、実物パネルの板金実習を行いました。

テストピースを使用した実習作業は受講生全員が参加し、スチールとアルミニウムではハンマリング時の手ごたえ感覚が違うことを把握するとともに、絞り作業の方法を習得しました。実物パネルを使用した板金実習では、作業手順と作業方法

を理解していただき、溶植機による修正を受講生の代表者が実習しました。

今回受講した7名のアンケート結果は好評で、これまでにアルミニウム外板の修正を行ったことのない複数名の方からは「今回の受講を契機にアルミニウム外板の修正に積極的に取り組んでいきたい」などのご意見がありました。



実物パネルの板金実習

近年、増加傾向にあるヘミング加工されたリヤフェンダ。 取り替え作業時の基本とポイントをご紹介します。

ヘミング加工部の取り替え作業例

実際にリムーバルツールとヘミングツールを使った、日産マーチ(型式:K13)の右リヤフェンダの取り替え作業例をご紹介します。

【リムーバルツールでの取り外し作業】



リムーバルツールに付属しているリムーバルプライヤー(上写真)を使用し、リヤフェンダのヘミング加工部の一部を、内側よりめくります。



リムーバルプライヤーでめくった端部にリムーバルツールの刃先をセットし、ヘミング加工部をめくっていきます。サンダー等による切削作業がないため、鉄粉の飛散がなく作業の環境は良好です。

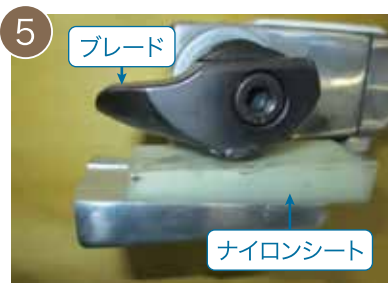
【リムーバルツールでの取り付け作業】



ホイールハウスアウトと新部品のリヤフェンダの両方に、自動車メーカー指定の接着剤を塗布します。この時、鋼板の素地が露出しないようにヘラ等で延ばします。



新部品のリヤフェンダは、ホイールアーチ部を90度に折り曲げた状態(赤矢印)で補給されます。エア駆動のヘミングツールを使用するには、予め約45度まで折り曲げておく必要があります(予折り)。ポイントとして、リヤフェンダの表側にドリーを当てると歪みができやすいため、手のひらで押さえて、中央部より少しずつハンマで折り曲げていきます。



ヘミングツールのナイロンシートを前後方向に移動することで、加工する厚みを調整できます。ヘミング加工は2回に分けて行い、最初はブレードとナイロンシートの間を広めにセットして加工します。次に、ブレードとナイロンシートの間を狭くして加工を行います。



エア駆動によりブレードが上下方向に動き、加工されていきます。一定の速度でヘミングツールを動かしながら、途中で止めることなく最後まで移動します。

P!

取り付け作業のここがポイント!

ヘミング加工の一番の課題は、加工後の歪みの発生を少なくすることです。歪みを少なくするためのポイントは、初期段階のハンマでの折り曲げ作業(予折り)とヘミングツールの動かし方が重要になってきます。

ハンマによる折り曲げ作業は、金属製のドリーを使用せずにパネルの表側を手で押さえ、この時の押さえている力に見合った(適した)力加減で、少しずつハンマリングすることです。ヘミングツールの動かし方は、ナイロンシートをパネルに対して平行に当て、無理な力を加えないで一定の速度で移動させるのがコツです。

【注意】取替作業については、自動車メーカー発行の修理マニュアルに従って作業を行って下さい。

○販売元 ・株式会社バンザイ ・ネクスト株式会社

区分	研修会名	目的	対象者	定員	開催期日
フロントマン	フロントマン見積・接客研修会(ベーシックコース)	見積技法および接客力の向上を図るため	見積の基礎知識(ボデー構造、修理技法、損傷診断、見積技法)と基本的な接客技術を習得したい方	25	2017.10.2(月)~10.5(木)
	フロントマン見積・接客研修会(レベルアップコース)		フロントマン見積研修会(ベーシックコース)を受講した方、または基本的な見積技術をすでに習得している方で、見積精度ならびに接客技術の向上を図りたい方	25	2017.12.4(月)~12.7(木)
板金スタッフ	板金研修会(外板修正コース)	板金技法等の資質向上を図るため	外板修正の基礎知識(鋼板の性質、加工、板金工具等)および板金作業の技術・技能を習得したい方	8	2017.6.6(火)~6.8(木)
				8	2017.12.4(月)~12.6(水)
				8	2018.1.16(火)~1.18(木)
	板金研修会(溶接パネル取替コース)		板金研修会(外板修正コース)を受講した方、または基本的な板金技術をすでに習得している方で、各種溶接の基礎知識(炭酸ガスアーク溶接、スポット溶接)および溶接系パネル取替作業の技術・技能を習得したい方	8	2017.7.4(火)~7.6(木)
				8	2018.1.10(水)~1.12(金)
	板金研修会(内板・骨格修正コース)		板金研修会(外板修正コース)および溶接パネル取替コースを受講した方、またはそれと同程度の板金技術をすでに習得している方で、ボデー構造と損傷診断の基礎知識および内板・骨格修正(寸法計測・車両固定・引き作業等)の技術・技能を習得したい方	8	2017.8.29(火)~8.31(木)
		8	2018.1.30(火)~2.1(木)		
塗装スタッフ	塗装研修会(ベーシックコースI)	塗装技法等の資質向上を図るため	補修塗装の基礎知識(使用材料、使用機材等)および補修塗装作業の基礎的な技術・技能(パテ付け・研ぎ、マスキング、ソリッド塗装を中心とした上塗り等)を習得したい方	8	2017.5.16(火)~5.18(木)
				8	2017.10.17(火)~10.19(木)
				8	2017.12.12(火)~12.14(木)
	塗装研修会(ベーシックコースII)		塗料研修会(ベーシックコースI)を受講した方、または基本的な塗装技術をすでに習得している方で、ソリッド塗装以外(メタリック、2・3コートパール)の塗装を中心に上塗り塗装および調色作業について技術・技能を習得したい方	8	2017.6.13(火)~6.15(木)
		8	2018.1.23(火)~1.25(木)		
NEW	塗装研修会(水性コース)		水性塗装に関する基礎知識を習得したい方	8	2017.7.19(水)~7.21(金)
整備スタッフ	メカニカル研修会(ハイブリッドカーコース)	整備技法等の資質向上を図るため	ハイブリッドカーの基礎知識(低圧電気取扱、各構成部品の構造・作動)を理解し、ハイブリッドカー特有の整備技術を習得したい方	20	2017.7.4(火)~7.6(木)
				20	2018.1.16(火)~1.18(木)
	メカニカル研修会(総合診断技術コース)		エンジンを中心とした電子制御システムの理解とスキャンツールを使用した総合的な診断技術を習得したい方	10	2017.6.20(火)~6.22(木)
				10	2017.7.25(火)~7.27(木)
				10	2017.12.12(火)~12.14(木)
ロード	レッカーサービス・ロードサービス接客技術研修会	レッカー・ロードサービスにおける、接客力・技術の向上を図るため	レッカーサービス、ロードサービスに従事している方、あるいは近い将来従事する予定の方で、接客技術・積載(搬送)作業技術を習得したい方	30	2017.9.29(金)
NEW	人材育成	人材育成に資するため	工場経営者または次世代を担う社員等の方	未定	未定(東京・大阪を予定)
フロントマン	第42回全国フロントマン選抜技術競技会	フロントマンの技術向上を図り、農家組合員の期待に応えるため	県本部協会の主催によるフロントマン技術競技会に参加し優秀な成績を収め、県本部協会が推薦した指定工場のフロントマン	30	2017.11.17(金)~11.18(土)

*申込者が定員を超過する場合は、抽選により参加者を決定します。

*4~6月開催の研修会は、申込みが終了しています。なお、追加募集を行っている場合がありますので、各都道府県本部事務局へお問い合わせください。